

# ビジュアルコンテンツデザイン

## 第6回制作課題

学籍番号:2232152 氏名:三林 瑠威

### 制作物へのアクセス

Github Pages (<https://rui1101.github.io/2024VC/6>)

ソースコード:Github@Rui1101/2024VC

### 1. 使用するファイル

#### 6

- ├── 6.code-workspace
  - │ ▶ VSCode でエディタを開く際の設定ファイル
- ├── access.html
  - │ ▶ ナビゲーションバー「アクセス」の遷移先。アクセス情報を紹介。
- ├── contact.html
  - │ ▶ ナビゲーションバー「お問い合わせ」の遷移先。問い合わせフォームを表示。
  - │ ▶ なお、html/css のみの学習のため、CGI 等の実際に送信する動作は未実装。
- ├── img
  - │ └── ...省略...
  - │ ▶ 使用する画像ファイルの格納先。
- ├── index.html
  - │ ▶ ホーム画面。
- ├── menu.html
  - │ ▶ ナビゲーションバー「メニュー」の遷移先。詳細や価格(架空のもの)を紹介。
- ├── style
  - │ ├── common.css
    - │ ▶ 全ページに共通のスタイル(ナビゲーションやフォント・配色)を定義。
  - │ ├── style.css
    - │ ▶ index.html に使用するスタイルシート。
  - │ └── style\_access.css
    - │ ▶ access.html に使用するスタイルシート。

```
|   |——— 📄 style_contact.css
|   |   ▶ contact.html に使用するスタイルシート。
|   |——— 📄 style_menu.css
|   |   ▶ menu.html に使用するスタイルシート。
|——— 📄 お店情報.txt
      ▶ 制作に必要な情報の載っているテキストファイル。(第六回配布素材より)
```

## 2. アピールポイント

### 評価ポイント ①-⑥

① Web ページが公開されており、URL で閲覧できる。

(ア) [1.制作物へのアクセス](#)にて公開・閲覧可能状態に設定済み。

② 複数のページに分かれており、統一的な CSS でデザインされている。

(ア) ホーム画面(index.html)をメイン画面とし、ナビゲーションバーでメニュー画面(menu.html)や問い合わせ画面(contact.html)に移動可能にした点。

(イ) 全体の配色を共通のスタイルシート(common.css)で統一した。また、焼き肉店ということもあり一般的に食欲減退色といわれるような青色などの寒色を使用しないようにした。

(ウ) 配色については [Adobe Color](#) を使用し、焼き肉をイメージさせるような配色を検索し背景色などに適用した。

実際に参考にしたサイト：<https://color.adobe.com/ja/search?q=焼肉>

③ div タグにより、各ページがグリッドデザインになっている。

(ア) 主に CSS Flexbox を活用し、ページ全体が整列し画面の左側に情報を載せて、右側に画像を表示させられるようなページデザインをベースにした。  
一部、section タグ等で記述した部分もある。

④ タイトルやロゴは画像化されている。

(ア) 自身でタイトルやロゴを作成し、それぞれ「ヘッダー(ナビゲーションバー左部)」  
「ホーム画面のトップ([index.html#top](#))」「フッター(最下部のロゴ)」「ファビコン」  
に設定した。



図 1 作成したロゴ(実際に使用しているものは塗りが「白色」のもの)  
上記図 1 のほかにも、タイトル用の文字のみのロゴやファビコン用の正方形の画像などを制作した。



図 2 illustrator 2025 で作成したロゴ

尚、牛を模したアイコンについては Adobe Stock の無料素材からダウンロードしライセンスを取得した。

[https://stock.adobe.com/jp/images/set-collection-bull-head-abstract-simple-modern-black-logo-icon-design-illustration-isolated-background/350093629?prev\\_url=detail](https://stock.adobe.com/jp/images/set-collection-bull-head-abstract-simple-modern-black-logo-icon-design-illustration-isolated-background/350093629?prev_url=detail)

- ⑤ 使用されている画像は、トリミングや色調変換など見やすい処理がされている。

(ア) メニューに使用する画像については Photoshop 2025 で自動の「明るさ・コントラスト」「色調補正」の調整を行った後、画像の比率が 1:1 になるように切り抜きッ

ールでトリミングを行った。

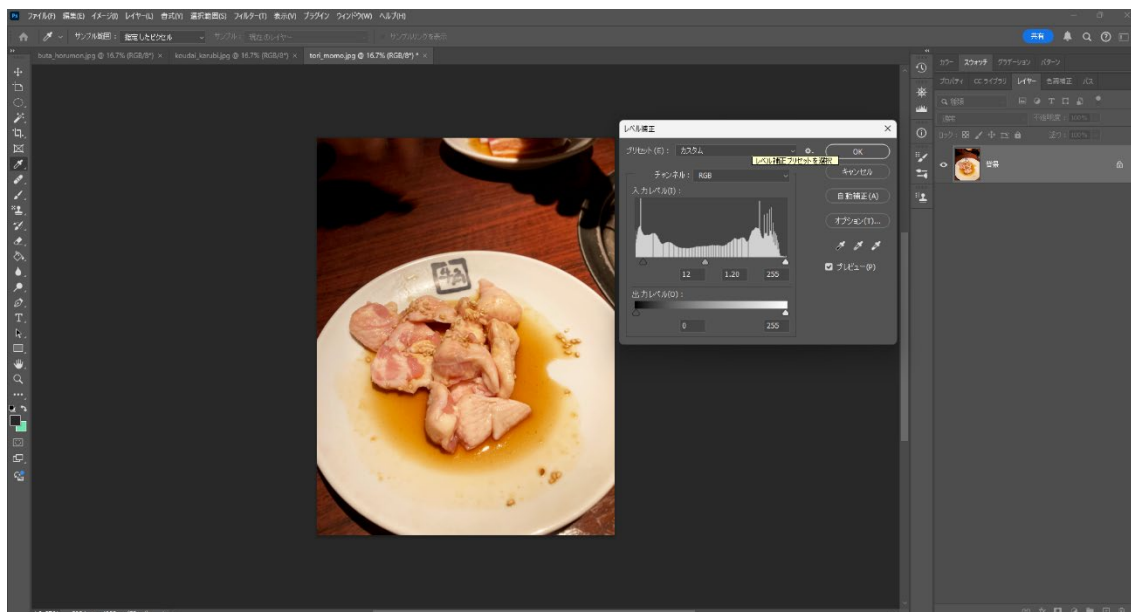


図 3 Photoshop 2025 上でおすすめメニューの画像に色調補正をかける画面

⑥ その他工夫がなされている。

以下、全体を通じての工夫ポイントにて紹介。

## 全体を通じてのポイント

① Google Fonts/Material Symbols を使用。

Google Fonts ではページ全体のフォントを明朝体にして、焼肉屋の「和のイメージ」や「堅いイメージ」などを印象付けるようにした。

Google Material Symbols はスタイルシートとしてリンクすることで、span タグでのアイコンを呼び出すことができ、インライン要素としてページ内の文字をより視覚的にすることができ、感覚的な UI が実現できる。



図 4 全ページ共通のナビゲーションバー。文字の横にロゴが表示され視覚的に操作可能

### 1. section での全画面ページ表示

ホーム画面やメニュー画面では、それぞれのセクションの高さを「100vh(ディスプレイの高さ)」に指定し、またこれらに scroll-snap を適用することでスクロール時に画面が定位置(各

セクション)で固定されるようにした。

```
.scroll_area {
  margin-top: 60px;
  flex: 1;
  overflow-y: auto;
  scroll-snap-type: y mandatory;
}
.full {
  width: 100%;
  height: calc(100vh - 60px);
  scroll-snap-align: start;
}
```

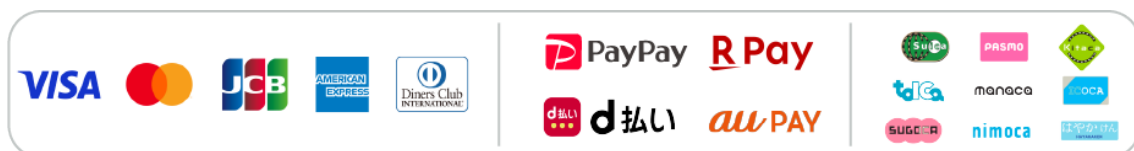
**common.css 90-106 行目 スクロールスナップの適用と full クラスによる全画面表示**

なお、ヘッダー部の高さを calc 関数で引くことで header 部分の高さが保持され、flex: 1;で配置を維持している。

## 2. 画像などの box-shadow を適用し視覚的に表示。

ホーム画面の画像や埋め込みの Google Map にスタイルシートで box-shadow を適用することで立体感が出て、全体的にのっぺりした印象になりやすい単一色背景でもインパクトが出るようにした。

## 3. (個人的に少し時間がかかった部分)お支払方法の各社ロゴまとめ



**図 5 ホーム画面のお支払方法部に表示している各種支払方法のアイコン**

こういったロゴをまとめているまとめサイトも存在したが、各社のロゴの著作権を尊重するため、それぞれのサービスの提供しているロゴの利用規約を確認したうえで一つずつ配置した。整列やサイズ調整に特に時間がかかった。

焼き肉店にしては相当各種サービスに対応しているので手数料が困らない程度の収入がある想定で作成した(?)

## 4. まとめ

全体の制作をだらだらと 2 週間ほどかけて行っていたので、ページ数やコードの行数がそれなりに多くなってしまった。この授業を履修する前からある程度の html と css の知識があったので、今までの経験も生かした課題制作ができたのではないかと感じた。改めてサイトを作成していく中で、やはり VSCode でカリカリ書きながら修正を加えていく方が自分は楽しいと感じたのと、性に合っているなと思った。反面、これまでの授業で Dream Weaver というツールがあるのを知り、感覚的に操作できるのが初学者向けとしても優しいなと感じた。

途中途中に出てくる「三千里 亀戸店」、行きつけの焼肉屋さんなので機会があればぜひ食べてみてください！